

うちどく 家読の ススメ

No.14

ていがくねんむ
低学年向け

2026.10 発行

うち
「家」のみんなで本をよ読む＝家読

どくしょ
読書をとおして、家族の「きずな」をふかめてみませんか？

たとえば…

- おな ほん よ
同じ本を読んで、かんそうを話す
- さいきん よ ほん
さいきん読んだ本をしょうかいする
- えほん よ き ほん ろうどく
絵本の読み聞かせや本の朗読をする



と しょかん ほん ～図書館の本～

がっこう としょかん ち いき としょかん
学校の図書館や地域の図書館をはじめ、いろいろな「図書館」が出てくる本をあつめました。
おきゃくさまがどうぶつやおばけだったり、図書館のある場所が水の上だったり。
さまざまな本の中の「図書館」を、そっとのぞいてみませんか。



『としょかんライオン』
ミシェル・ヌードセン // さく
ケビン・ホークス // え
福本 友美子 // やく
岩崎書店

とつぜん図書館へやってきたライオンに、みんな
はおおあわて。けれども、きまりをまもり、おてつだ
いもするライオンは、図書館の人気ものに。
ところがある日、事件がおきて…。



『としょかんのよる』
ローレンツ・パウリ // 文
カトリーン・シェーラー // 絵
若松 宣子 // 訳
ほるぷ出版

ネズミをおいかけて、夜の図書館へ入ったキツネ。
どんな場所か知らなかったキツネに、ネズミはと
しょかんのきまりを教え、絵本をすすめました。知るこ
との楽しさや本のみりよくをえがいた1冊です。

★『ふねのとしょかん』 いいい つとむ // 作 文研出版

お兄ちゃんとのりこんだふねの中は、まるで本の森のよう。友だちを少しずつのせて、時にはあらしにあ
いながらも、川を下って行きます。本もぼうけんも楽しめる、すてきな図書館のおはなしです。

★『山の学校 キツネのとしょいいん』 葦原 かも // 作 高橋 和枝 // 絵 講談社

ふか やま
深い山のふもとにあるえのき小学校。図書館にあらわれたきつねの子・リンは、本のバーコードを読みと
る「ピッ」という音が気になるようで…小さな小学校と子ぎつねの、あたたかくて少し切ない交流の物語。

★『おばけとしょかん』 1～3 斉藤 洋 // 作 森田 みちよ // 絵 講談社

ずかんをよんでいたら、図書館で眠ってしまったひろしくん。目をさますと夜になっていて、図書館の中
は、おばけばかり。どうになってしまうの？ときどきしながら、一気に読んでほしいシリーズです。

あいづ わかまつ しりつあいづ としょかん
会津若松市立会津図書館

〒965-0871 会津若松市栄町3-50 Tel 0242-22-4711

会津図書館 HP



会津図書館 X

